

科名 血液内科 血157

対象疾患名 小児および若年成人におけるT細胞性急性リンパ性白血病

プロトコール名 JALSG T-ALL 211-U SR再寛解導入(ⅡB+L)

Rp	形態	ルート	薬剤名	単位		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	点滴	側管	グラニセトン注	1mg	30分かけて	↓		↓	↓	↓	↓				↓	↓	↓	↓	
2	点滴	側管	エンドキサン注	1000mg/m ²	1時間かけて	↓													
			生理食塩液	500mL															
3	点滴	側管	ソルコーテフ注	100mg	30分かけて	↓			↓				↓				↓		
			生理食塩液	100mL															
4	筋注		ロイナーゼ	10000U/m ²		↓			↓				↓				↓		
			5%ブドウ糖液	2mL															
5	点滴	側管	キロサイド	75mg/m ²	15分かけて			↓	↓	↓	↓				↓	↓	↓	↓	
			5%ブドウ糖液	50mL															
6	内服		ロイケリン散	60mg/m ²	眠前	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
			髄注						↓						↓				

～MEMO～

- ・催吐レベル3(30%以上90%未満)
- ・好中球数500/ μ L以上、かつ血小板数50000/ μ L以上であること
- ・ロイナーゼ投与時には、毎回ヒドロコルチゾン併用投与する。なお、体重20kg未満の患者の場合は、ヒドロコルチゾンの投与量を50mgとする。
- ・ロイケリン散を60mg/m²1日1回眠前にday1-14まで服用。
- ・day3、10に髄注を行う。

《髄注量》

年齢3歳以上に対し、「メソトレキセート 12mg、キロサイド 30mg、プレドニゾン 10mg」を1本の注射器にまとめて髄注する。

メソトレキセートは、注射用蒸留水で溶解し、2.5mg/mLにする。プレドニゾンは、注射用水に溶解し、10mg/mLにする。キロサイドは、必要量をシリンジにとる。